

三重

※2024年春実施の全国公立高校入試情報は、2023年12月1日現在によるものです。

1. 日程

[前期選抜・スポーツ特別枠選抜] [連携型選抜]

○検査

2/5・6

○内定通知

2/15

※追検査 2/13

[後期選抜]

●学力検査

3/11

○合格発表

3/18

※追検査・再募集 3/22

2. 学力検査

[後期選抜]

国語：45分・50点

数学：45分・50点

英語：45分・50点

理科：45分・50点

社会：45分・50点

<250点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

※面接を実施する学科・コースあり。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり（例年）

3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階（絶対評価）

○2年…5段階（絶対評価）

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年重視（3年のみを合計）

3年：9教科×5段階＝45点

<45点満点>

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

やや学力検査重視

[判定方法]

両順位重複方式

①次の1・2の両方に含まれている者を合格とする。

1. 調査書の学習の記録および特別活動の記録がすぐれている者(定員のおよそ100%)

2. 学力検査と実技検査の得点合計(学力検査等得点)の上位者(定員の約80%)

②①の残りの者のうち、1で選ばれた者の中から学力検査等の得点の上位者(定員の残り2分の1まで)を合格とする。

③残りの者について、各高校が事前に明示している「特に重視する選抜資料等」をふまえ、総合的に判断する。

※①の1を募集定員の110%、120%と設定する高校・学科・コースあり。→「備考」参照。

5. 推薦入学等

■前期選抜(スポーツ特別枠選抜を含む)

学科・コースの特色をふまえて「選抜において重視する要件」に基づき独自に行う選抜。

普通科の一部、専門学科・総合学科で実施。

自己推薦書(スポーツ特別枠はスポーツ特別枠自己推薦書)と入学確約書を提出する。

※スポーツ特別枠選抜は、県指定の強化指定運動部のある高校のうち希望する高校が、募集競技を決め、各競技ごとに若干名を募集する。令和6年度は16校で実施。スポーツ特別枠で合格内定とならなかった者は、前期選抜の志願者として選抜する。

[検査内容]

面接または自己表現、作文または小論文、実技検査(スポーツ特別枠は必須)、学力検査(国数英のうち2教科以内の学力検査もしくは総合問題)、その他の検査のうちから実施。

[定員に対する比率](原則として)

○普通科…30%以内

○普通科の専門コース、専門学科、総合学科、1学年3学級以下の高校の普通科…50%以内

※桑名の衛生看護科、四日市四郷のスポーツ科学コース、飯野の応用デザイン科、白子の文化教養(吹奏楽)コース、松阪工業の繊維デザイン科、相可の食物調理科、昴学園は、100%

■連携型選抜

飯南

連携型中学校からの志願者を対象とする。

「課題学習のまとめ」を提出。

[検査内容]

面接, 《基礎学力検査》

※募集枠は特に定めない。

6. 備考

通学区域は、北部・中部・南部の3学区。

前期選抜のみ、または後期選抜のみで入学定員のすべてを募集する学校・学科・コースあり。

※追検査

すべての選抜で、病気等やむを得ない理由で検査を受けられなかった者は、追検査を受けられる。

※合格者が入学定員に満たなかった高校は、再募集を実施する。

■後期選抜

過半数の高校が面接を実施。

同一校内の異なる学科・コースに限り、第2志望とすることができる。

■海外帰国生徒・外国人生徒等特別枠入学者選抜

志願できる高校・学科・コースが決まっている。

前期・後期それぞれ、各校原則として3名以内。(みえ夢学園は午前の部・午後の部各5人以内、飯野の英語コミュニケーション科は各7人以内、前期選抜または後期選抜のみを実施している高校は6人以内)

[前期選抜]

一般生徒と同様。

[後期選抜]

作文, 面接, 《学力検査》

[学力検査の傾斜配点]

○四日市南の数理科学コース…数×2

○飯野の英語コミュニケーション科…英×2

[選抜方法の①の1において調査書点で選ぶ人数が110%以上]

○110%…桑名・四日市南・神戸・津西・松阪の普通科

○120%…桑名・神戸・上野・松阪の理数科, 四日市・伊勢の国際科学コース, 四日市南の数理科学コース, 四日市西の比較文化・歴史コースと数理情報コース, 川越, 津西の国際科学科, 名張青峰の文理探究コース